



カリキュラム論

静岡大學教育學部教授

鈴木信政

まえがき

カリキュラム研究は小學校以上の學校に於ては既に華々しく展開されて、今日では一應落着いたと見られるが、幼稚園保育所の所謂保育カリキュラムに就いては極く最近の研究に屬しその研究熱も各地各様であり、しかも全體的に見て低調なものである。その方向も雜多で、甚だしいのは學科カリキュラムの型式に迎合せんとするもの、或はカリキュラム研究はむづかしい、毎日の保育で手一つばいと投げてしまつてゐるものもある。思うに保育は過去長い間所謂經驗カリキュラム型式の下に營々として保育を續けて今日をかも得たのであるから、この傳統を守り、尊い過去の經驗を生かし、保育の實際の流に系統付け組織付けを行い、理論的批判を加えて保育計畫を立て、いけば日本の幼児教育により一層の進展が望めるのではなからうか。カリキュラムは各園にあり、その構成・活用は保育者自身の手に在りと思ふ。筆者はその卑近

な一例として、静岡大學附屬幼稚園の後藤鈴枝・藤野敬子・杉山桓子二教官をわすらわし、十一月保育計畫表を中心としてカリキュラム座談會を試みた。

保育カリキュラム構成の一例

筆者 カリキュラムという言葉は大分耳馴れてきたが、學者とか研究家という立場からでなく、保育實際家としてカリキュラムをどうすればよいか、附屬幼稚園のもつ計畫を中心としてお話しして頂きたい。

本年度の調査資料——智能検査、身體検査・發育狀況調査
家庭調査・社會生活調査等の統計表やグラフ——及び年間
保育計畫表・單元表など提示された。

この年間計畫表や基礎資料についてどうぞ。

A 年間計畫は單元表とそして月別計畫表とで展開させ計畫を立ててみました。表の形式は參考書や各縣發表のもの
を參考程度にして私達で一應きめました。

B 子供の調査は毎年やつています。實際無くては困りますから、入園時や入園後にもやつて、表にあらわし日常生活用しています。

C 施設備・遊具・用品等についても色々の角度から再検討してみました。

A 毎年やつていること・現在あるものを基礎にして私達が今迄保育して来たものを系統組織的に一つの表にあらわしてみただけです。ほんとうに荒削りで生地そのまゝですよ。

筆者 それは有りがたい。この粗材をどういうようにして立派に仕上げて行くかを明らかにして頂く所が私のねらいだ。理論的な構成よりは保育實際面から構成してみることに、今日、保育者としてぜひ必要だと思ふ。

B 選擇兒という特殊條件で凡ての検査は全國平均から見て優秀の部に屬します。(入園希望者は豫定人員の約四倍になる)

C それに一クラスの子供が二十名そこそこですもの、樂に手が届きますし、一般的にみて少し程度の高いものが望まれます。

筆者 月の計畫表を一枚一枚拜見するといふのですが、今日は割愛して頂いて、十一月の計畫表だけについて先生方の御考えは。

A 小さい子供ですから月に二單元ほしい。そして含みを持たせるため保育實日數を當てゝみました。

C 十一月は行樂のシーズンですので、子供の一番好む遊園地を選んでみました。

筆者 仲々盛り澤山で、實際にはどうでしょうね。

C 今までのものを集大成した形です。先生としての豫備計畫としてはこの程度のものには必要ではないでしょうか。

A 之で實際やつてみて子供の毎日の動きにつれて取捨選擇しています。

C 大部分お隣りの附屬小學校を希望しますので、一年生との連絡上要求が多くなつてこんなふうになります。

A この一年間私達の方針でやつてみて、來年度にはすつきりした計畫表を作つてみたい。

筆者 次にこの表の活用についてどうぞ。

B 印刷するとか小冊子にするようなことは斷然やめましょう。

筆者 そのお考えは大賛成。流行の形を追うのは愚の骨頂商店のちらしみたいに配つても肝心の子供は良くなりませんからぬ。

A 毎月の分を大型の紙(模造紙の類)に書いて各保育室に掲出して置いて、子供のお母さん方をはじめ來園の方々に見て頂きます。

C 保育中でも私達は見られるし、來園の方々には子供の動きをはつきり知つて頂けますもの。

筆者 それは良い方法だ。出來れば少し餘白を設けて、事に評價し訂正書きとみが出来るようにね。形式的に保育

日誌をいやいや書くよりは、ずつと生き／＼した子供のためになるものだ。

A 家庭へはこれを簡略にした形で通知し、子供の園生活を知って頂くようにしています。

筆者 家庭教育と園の方針とが一體となつて大變効果的ですぬ。

C 今年は發達系列(シーケンス)面を特に研究して加除訂正してはいかがでしょうか。

B この表は今に赤インクで眞赤に彩つてしまひますよ。筆者 先生方が十分話し合いの上お決めになつたんですから、お互に尊重し、自信を以つてやつて下さい。年度末の

總反省の時を楽しみに。

A B C とにかく計畫通りにやつてみます

(責任筆者)

あとがき

別表の計畫表は年間の一部を示したに過ぎず、全體の流れを十分察知して頂けないかも知れない。或は展示用のものからみると、色々批判すべきことが多いであらうけれど、保育實際家から出た生々しいものとして、また今後の精進により一步一步日常保育を進行しながら経験カリキュラムを構成していく途上のものとして考察して頂きたい。カリキュラム研究は各國の身近にあるもの、各園獨得の妙味を發揮させるものとして工夫考察して頂き度い。カリキュラムがほんとうに

地につき、所謂線香花火的に終つてしまわないことを聲を大にして叫ぶものである。